

## 特別養護老人ホーム いこいの杜

### 1 基本方針

入居者が、楽しく生き生きと安心して過ごすことが出来る環境作りに努める。

よりよいサービスを提供するために、専門職としての倫理と誇りを持ち、技能の研鑽に努める。

入居者、家族、地域住民との連携を強め、地域に開かれた信頼される施設づくりに努める。

### 2 今年度重点事業目標

#### (1) 多職種協働によるチームケアの充実

ア 認知症ケア…基本理念、認知症の人の尊厳を守り、認知症の行動、心理症状の予防・改善に資するBPSDの評価、アセスメント、ケア計画と実践に向けてチームアプローチを主とした認知症ケアの推進を図り専門性を高める体制を強化する。

イ 口腔嚥下機能…口腔体操・口腔マッサージなど口腔リハビリテーションを通し嚥下機能維持に取り組み、口の健康保持・食の楽しみの継続を図る。歯科専門職との連携による口腔衛生状態、口腔機能評価による適切な口腔衛生管理を行う。

ウ 事故防止…多職種協働で事故発生前に気づく視点に焦点を当て、予測されるアクシデントからこまめなケース会議（カンファレンス）等によりリスクアセスメントの充実を図り、個々の生活環境を整えた3A「安全・安心・安息」に繋げる。

エ 身体的拘束適正化・虐待防止…自己点検等早期改善に向け相談しやすいチーム作り、入居者の人権・権利擁護など尊厳ある介護を当たり前とする意識強化を図り良質なサービスの提供を行う。

オ 医療的ケア…多職種連携のもと、早期発見・早期治療を目指し、重度化に対応した安心・安全な医療的ケア・健康な生活の継続に繋げる。

カ エンド・オブ・ライフケア…本人・家族の意向をもとに、その人らしいQOLの継続・心に寄り添ったケア（安心）・きれいな思い出として残るよう情報共有の仕方に重点を置き人生のエンドポイントとしての尊厳あるケアに努める。

キ 自立支援…生活リハビリ・褥瘡予防・拘縮悪化予防など根拠に基づいたケアをもとに福祉用具の安全かつ適切な使用の促進を図りその人らしい活動支援に努める。身体機能ADL、口腔機能、栄養状態、認知機能など重度化の進行を緩やかにしていく状態像の総合的支援に取り組み、状態改善評価指標LIFEを活用した仕組みを定着させ科学的介護の推進を図る。

#### (2) 経営改善・基盤の確立

ア 入所稼働率96%を確保する。

イ 建物・防災設備の実像に合わせた各災害時の備え・訓練、BCP見直し等の継続を図り、緊急非常時の体制を整備する。（火災・地震避難訓練、不審者対応訓練、炊き出し訓練）

ウ 感染症流行情報をもとに標準感染予防策の強化を図り感染拡大予防及びBCPに沿った訓練を実施しまん延防止に努める。

#### (3) 職員の資質向上と人材育成

ア より高度な知識・技術等習得しサービスの質の向上を図るため、社会福祉士1名、介護福祉士2名、介護支援専門員1名、ユニットリーダー2名以上の資格取得を目指す。

イ 個々の研修計画、習熟度により、幅広い研修受講形態を活用し専門性の向上・人材育成を図る。

#### (4) 地域との連携・交流の促進

ア ボランティア、地域住民、近隣地域独居高齢者、各種学校等との交流を促進し地域福祉の推進を図る。

#### (5) 労働環境の整備

ア ICTの効果的な活用の推進をはかり、業務改善や効率化など施設全体の課題を抽出・研究し職員の業務負担軽減に取り組み介護サービスにおける生産性の向上を定着させる。

イ ストレスチェック、ハラスメントなど早期発見、サポート、相談しやすい職場の風土作りに働きかける。